

令和2年1月15日 公表

令和元年度 第2回グループ内取引等適正化委員会議事録

開催日及び場所	令和元年12月19日(木) 中日本高速道路(株)東京支社会議室	
出席委員	委員長 伊達 弘彦(弁護士) 委員 依田 照彦(早稲田大学名誉教授) 委員 相関 透(公益財団法人公正取引協会 常務理事)	
審議対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
会社名(発注者)	抽出件数	(備考)
中日本高速道路(株)	4件	料金収受業務・交通管理業務・保全点検等業務・維持修繕等業務(子会社契約)
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	1件	保全点検等業務(見積競争)
中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	1件	維持修繕等業務(見積競争)
中日本ロード・メンテナンス東海(株)	1件	維持修繕等業務(見積競争)
中日本ロード・メンテナンス中部(株)	1件	維持修繕等業務(見積競争)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(別紙のとおり)	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	≪維持修繕等業務(見積競争)≫ 見積依頼先の選定において実績を考慮する場合があることなど、基本的な選定基準を定め、明らかにしておくべきである。	
備 考		

別記様式第1号の別添

委員からの意見・質問、それに対する回答等

抽出案件の審議	
<p>(1) 発注者：中日本高速道路（株） 内 容：保全点検等業務 契約方法：子会社契約</p>	
意見・質問	回答
<p>ロープアクセス技術を用いた点検を子会社で実施した理由は何か。</p>	<p>ロープアクセス技術を用いるものも含め、点検業務であるため子会社で実施している。</p>
<p>(2) 発注者：中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋（株） 内 容：排水管補修工事 契約方法：見積競争</p>	
意見・質問	回答
<p>見積依頼先の3者を選定した意図は正しいと思うが、受注者側からすると、どうしてなのかという疑念が湧くので、例えば、「受注実績が多い者であっても受注できないことがある」などと公表するのが良いのではないか。</p>	<p>見積依頼先の選定方法について、取引を希望する会社に対してどのように知らせるかは検討したい。</p>
<p>(3) 発注者：中日本ロード・メンテナンス中部（株） 内 容：防草対策他作業 契約方法：見積競争</p>	
意見・質問	回答
<p>契約金額が増加した理由は何か。</p>	<p>小補修工事等を実施する必要が生じ、本業務に追加したため。</p>